送辞

朝晩は、まだ冷え込みますが、昼間の太陽に春ののどかな陽気を感じる季節となりました。晴れて卒業を迎える百二十九名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し心よりお祝い申し上げます。

桜が咲き誇る中、真新しい制服に身を包み、これから始まる三国高校での生活に、期待と不安を抱きながら校門をくぐられてから早三年の月日が経とうとしています。今、先輩方は三国高校で過ごした楽しいことや辛いことなどの大切でかけがえのない日々を昨日のことのように思い返しているのではないでしょうか。

二年前、入学したばかりでなにも分からない私たちを笑顔で優しく、迎え入れてくださった時のことを今でも鮮明に覚えています。玄関では先輩方の部活の宣伝があり、とても賑やかで、楽しめました。

私が一番、先輩方と深く関わるようになったのは、学校祭の時でした。特に昨年行われた学校祭では、各部門の一、二年生は先輩方にとてもお世話になったことだと思います。一年生は初めての学校祭、二年生は先輩として初めての学校祭。そんな不安もありながら、先輩方の楽しそうに、そして一生懸命に準備や練習をしている姿をみて、そのような不安も気にせず、楽しむ事ができました。そんないろんな出会いや発見があった昨年の学校祭は、私の中で最高の思い出として残っています。

そして部活動では、一つの目標に向かって努力し、時には優しく、時には厳しく指導していただきました。最後の大会では、共に喜び、時には涙したこともありました。先輩方には、仲間と共に一つの目標に向かって努力することの大変さと大切さを教えていただきました。

これから先輩たちはそれぞれの道に進んでいかれます。思い通りにいかないこともあると思います。新しい環境に不安になったり馴染めなかったりすることもあるかもしれません。しかし、そんな時はこの三国高校で過ごし、培った経験を思い出してください。その経験が先輩方の背中を後押ししてくれると思います。

私たちを導いてくださった強く、優しい先輩方なら必ず乗り越えていけると信じています。どうかそれぞれの場所で、自分の輝く場所を築いていってください。

最後になりましたが、先輩方のご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とします。

令和六年三月一日

在校生代表　伊藤恵汰